

石巻市の復興まちづくり (第52回)

このコーナーは、市の今後の復興まちづくりに関する情報をお知らせします。
今回は、子育て支援に関する最新情報を紹介します。

子育て支える新しい保育所の紹介 ～保育所災害復旧事業～

東日本大震災の津波により被災した市内の保育所については、「石巻市震災復興基本計画」に基づき整備を進めてきました。今年、3つの保育所が完成し、4月に開所します。

市立渡波保育所

渡波保育所とはまなす保育所を統合し、さくら町(新渡波地区新市街地内)に移転します。なお、現在の渡波保育所の仮設園舎(流留)は、3月までとなります。



構造	木造平屋建て
延べ床面積	1,007㎡
定員	70人

施設の特徴

子育て支援センターを併設し、地域子育て支援拠点施設として、育児不安等を抱える保護者からの相談、子育てサークル等への活動支援や家庭に対する育児支援を実施します。



市立釜保育所

流失した門脇保育所は、所在地が非可住地域となったことから、内陸の下釜第一地区の被災市街地復興土地区画整理事業地内に、釜保育所として移転します。

保育所北側には、災害時の一時避難場所となる復興住宅が隣接しています。



▲保育室

構造	木造平屋建て
延べ床面積	724.78㎡
定員	60人

市立雄勝保育所

雄勝保育所は、小島・大浜地区の高台に移転します。市では、小島・大浜地区の高台を「教育・福祉ゾーン」と位置付けており、すでに保育所周辺には高齢者福祉施設が立地し、雄勝地区統合小・中学校が建設中です。また、雄勝保育所の北側隣接地には、雄勝診療所(医科・歯科併設)が1月16日(月)に開所します。



▲子育て支援センター

構造	木造平屋建て
延べ床面積	588.77㎡
定員	20人